



速報!



3年間の取り組みが認められ、《カンゴサウルス賞》受賞が決まりました。5月23日にザ・ストリングス表参道（港区北青山）での授賞式に出席してきます。授賞式の模様と受賞コメントは次号で紹介します。



インターンシップの取り組み

インターンシップは、職場体験を通じてその病院の雰囲気を感じ、職員と親密にふれあう事ができることから、就職を決定する際の大きな決め手となっています。市内でも民間、公立を問わず様々な施設で受け入れを行っています。

今年度、両津病院では看護職4名のインターンシップを受け入れています。メニューに工夫を凝らし、両津病院のウリである「地域のかかりつけ病院」としての取り組みや「地域医療の現場」を体験していただきました。

最終的にインターンシップを経験していただいた全ての方が、当院で働いていただくことになりました。

『インターンシップ』がチラシや文書では伝えきれない看護部のWLBの取り組みや職場の雰囲気を知って頂く、良い機会であると再認識しました。

3月には、北里大学看護学部3年の田上佳奈さん〔横浜出身〕が、両津病院のインターンシップを経験しました。田上さんは、当院のホームページを見て『離島看護を現場で学んでみたい』という希望で申し込まれました。

天候が安定し、大学が春休みのこの時期に来島し、2泊3日の行程で離島佐渡の医療・看護を体験し、都会では得ることができない経験ができたようです。

今後は、就職希望者だけでなく、こうした学生の学びの場として受け入れていくことが、全国に向けて当院をPRしていくことに繋がると思います。そして、この活動が、将来に向けての看護師確保の重要な手段の一つとしてPR活動(口コミ)になるように感じました。



『教えて石塚特別執行委員』 第19回目 「3年間を振り返って」

WLB推進活動の1年目のアンケート結果から、就業規則や休暇などの制度があるのに「不十分」と感じている方が多くいました。学習会の開催やこの連載で、就業規則や諸制度(休暇制度を中心)について紹介してきました。夏季休暇5日間、年次有給休暇が時間単位で取得できることが他の自治体や民間に比べより優遇されていることがわかってもらえたと思いますが、まだまだ女性特有の休暇制度など取得しづらい実態もあると思います。

休暇などの諸制度を取得する権利はみんな平等にあります。個人だけの問題ではなく職場全体で「お互い様」と思える環境と雰囲気を作っていく取り組みを大切にしていきたいです。